

# 日本火災学会 講演討論会

## なぜ火災で人は亡くなるのか - 火災時のガス毒性に関する 諸要因について -

日時：2012年1月25日（水）13:00～16:30

会場：文京シビックセンター（小ホール）

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21

参加費：無料（ただし、テキスト代 1,000円）

申込方法：当日受付

### 会場へのアクセス

- ・東京メトロ丸の内線・南北線：後楽園駅 徒歩1分・都営地下鉄三田線・大江戸線：春日駅 徒歩1分
- ・JR総武・中央線：水道橋駅 徒歩8分

近年、火災総数は横ばいか減少しているものの、放火自殺等を除いても依然として1,300名ほどの方が亡くなっている。従来から、住宅火災において死者が発生する割合が高く、特に高齢者の占める割合が高くなっているのが特徴である。平成23年6月までに全国で住宅用火災警報器の設置が義務付けられたが、その効果は今後期待されるところである。火災における主な死因が一酸化炭素中毒・窒息、火傷であることから、熱や煙に暴露されることへの有効な対策ができていないことがわかる。これらの対策を考える上では、加害側の火災時の可燃物の燃焼ガスの生成のほかに被害側の人体の反応を理解した上で、火災時の煙性状や燃焼ガスの毒性について、さらに検討を進める必要がある。

本講演討論会では、死者の発生した最近の火災の特徴や、火災で人が亡くなるということについて、被害を受ける人体の反応に関する知見、火災時の燃焼ガスの発生側の情報や消防活動上の問題点を報告し、火災による死者低減につなげるための討論を行う。

- 1 開会の挨拶（13時00分～13時05分） 村岡 宏 日本火災学会学術委員会副委員長
- 2 講演（13時05分～15時40分） 司会 成瀬 友宏 火災ガス毒性調査専門委員会主査  
**統計から見る火災による死者の実態**（13時05分～13時20分）  
伊藤 浩一（東京消防庁）  
**被害側の要因 - 呼吸器系の観点から -**（13時20分～13時50分）  
相良 博典（獨協医科大学越谷病院）  
**被害側の要因 - 救急医療の観点から -**（13時50分～14時20分）  
池上 敬一（獨協医科大学越谷病院）  
**被害側の要因 - 法医学の観点から -**（休憩 14時20分～14時30分）  
徳留 省悟（獨協医科大学法医学教室）  
**火災時の燃焼ガス発生等の加害側要因**（14時30分～15時00分）  
仲谷 一郎（（財）建材試験センター）  
**消防活動における環境について**（15時00分～15時20分）  
若月 薫（消防研究センター）（休憩 15時20分～15時40分）
- 3 討論（15時40分～16時25分） 司会 高橋 太 記録 小野 美沙登
- 4 閉会の挨拶（16時25分～16時30分） 成瀬 友宏 火災ガス毒性調査専門委員会主査